

## 一般廃棄物収集運搬業務委託仕様書（烏山A地区）

### 1 目的

この仕様書は、市民の日常生活に伴って生じた一般廃棄物（以下「ごみ」という。）を、那須烏山市一般廃棄物処理基本計画に基づき適正に収集、運搬し地域の生活環境の保全を図ることを目的とする。

### 2 業務名

一般廃棄物収集運搬業務委託（烏山A地区）

### 3 業務内容

市の一般廃棄物処理実施計画に基づき委託地域内のごみステーションに出されるごみを収集運搬し、指定された中間処理施設等への運搬を厳守すること。また、確実に収集を行い、未収集等があってはならない。ただし、不測の事態が生じた場合はこの限りではない。

収集運搬を委託するごみの種類及び運搬する中間処理施設等は次のとおりとする。

#### （１）ごみの種類

種 類		収 集 日	
燃やすごみ		原則週 2 回	指定日
資源物	茶色ビン	月 1 回	指定日
	無色ビン	月 1 回	指定日
	茶色無色以外のビン	月 1 回	指定日
	リターナブルビン	月 1 回	指定日
	アルミ缶	月 1 回	指定日
	スチール缶	月 1 回	指定日
	ペットボトル	月 1 回	指定日
	紙パック	月 1 回	指定日
	ダンボール	月 1 回	指定日
	新聞・折込チラシ	月 1 回	指定日
	雑誌・雑紙	月 1 回	指定日
燃やさないごみ		月 1 回	指定日
布類		月 1 回	指定日
粗大ごみ		月 1 回	指定日
有害ごみ		2 ヶ月に 1 回	指定日

#### （２）中間処理施設等

①南那須地区広域行政事務組合 保健衛生センター

（那須烏山市大桶 4 4 4）

②アルミ缶、スチール缶、リターナブルビンについては、市が指定する場所に運搬する。

#### 4 委託期間

令和7年4月1日から令和10年3月31日（3年間）とする。

#### 5 委託期間の収集予定総量 合計 4,500 t

#### 6 収集区域及び収集日

- (1) 収集日程は市が定め、受注者はその収集日程に基づきごみを収集する。  
なお、契約期間内に収集箇所の増減や災害等により収集日数が変更になった場合においても、委託料の変更はしないものとする。
- (2) ごみステーション等からの収集は、午前8時30分以降とする。
- (3) 土曜日、日曜日及び年末年始（12月29日から翌年1月3日までの期間）、祝祭日であっても収集を実施する場合がある。
- (4) 市内一斉清掃やイベント等のごみを収集する。
- (5) ごみステーション箇所数  
別紙ごみステーション設置箇所一覧のとおり 261箇所
- (6) ごみステーションについて、新設・廃止・移動等をする場合においては協議又は連絡をするものとする。

#### 7 収集運搬車両

- (1) 収集運搬に使用する車両については、塵芥収集車2台以上保有すること。  
経費については、受注者負担とする。
- (2) 収集運搬車両には、那須烏山市の委託車両である旨を表示しなくてはならない。
- (3) 収集運搬車両は、ごみの飛散や流出することがないものとし、悪臭が漏れないものでなければならない。
- (4) 受注者は、関係法令を遵守し、使用する収集運搬車両の整備点検を適正に行い、収集運搬業務に支障のないように努める。

#### 8 人員

- (1) 受注者は、本業務を適正に履行するために必要な数の人員を配置しなければならない。収集運搬作業は収集運搬車両1台につき運転手1名、作業員1名以上で行うこと。
- (2) 受注者は、収集運搬業務に従事する従業員等の名簿を市に届けなければならない。
- (3) 運転手は、業務内容を十分に熟知し、適正に業務を遂行できる者であること。また、収集運搬車両の構造を十分に把握し、安全な操作ができる者であること。
- (4) 作業員は、業務の遂行能力を有する者であること。

#### 9 収集運搬車両の運行

収集運搬車両の運行は、道路交通法（昭和35年法律第105号）、その他の関係法令を遵守し、事故防止に努めること。

- (1) 収集運搬作業中は、他の車両の交通妨害にならないように留意するとともに、道路上でのごみの積み替え、分別をしないこと。
- (2) 収集運搬中に事故が発生した場合は、速やかに市に報告するとともに、受注者の責任において解決すること。
- (3) 車検及び故障等により、代替車において収集運搬する場合は、市に事前に届出を行い、市の承認を受けること。
- (4) 収集運搬車両については、受注者の負担により対人及び対物賠償額無制限の自動車保険に加入していること。
- (5) 収集運搬車両に清掃用具を常備し、作業にあたって環境衛生の保持に配慮すること。

#### 10 収集作業及び施設

- (1) 作業時間は、原則として午前 8 時 30 分以降開始とする。市から収集時間の指示があった場合は、それに従うこと。
- (2) 収集作業は、効率的かつ迅速に行い、粗漏のないようにすること。なお、ごみの取り残しがあった場合、その他市から指示があった場合は、速やかに対応すること。
- (3) 受注者は緊急連絡先の電話番号を市に報告し、市からの緊急連絡等に対応が取れる体制をとっておくこと。
- (4) 収集運搬車両保管場所は、運行前点検、清掃等に支障がない広さを有するとし、洗車設備は洗車及び汚水の処理等について周囲に迷惑を及ぼしてはならない。
- (5) 市民への適正排出指導に積極的に取り組み、市が指示するごみ減量化等の施策に協力すること。また、収集対象外のごみが排出されている場合は、回収不能の理由を記したシールを貼付し、ごみの出し方を周知すること。

#### 11 一般的な遵守事項

本業務の処理にあたっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和 46 年政令第 300 号）第 3 条に定める収集及び運搬の基準、その他関係法令の規則によるほか、次の事項を遵守すること。

- (1) 運転手及び作業員は、市の委託業務であることを念頭において、常に親切丁寧な対応を心がけ、市民に不快感を抱かせないように配慮すること。
- (2) 運転手及び作業員は収集運搬作業にあたり作業服、作業靴、ゴム手袋等の安全に作業できる服装を着用すること。
- (3) 受注者は粗漏のないようにするために、種類毎に 1 箇所のごみステーションを完全に収集したのち次のごみステーションへ移動すること。

#### 12 業務の報告

受注者は、毎月初めまでに前月の作業内容を記録した作業報告書を市に提出しなければならない。また、事故等が発生した場合は、速やかに市に報告しなければならない。

### 13 経費の負担

本業務を行うために必要な経費等は、すべて受注者の負担とする。

### 14 損害賠償

受注者は、本業務の履行について交通事故、その他第三者に損害を及ぼしたときは、受注者において解決し、その損害を賠償しなければならない。

### 15 再委託の禁止

受注者は、本業務を第三者に委託してはならない。

### 16 委託の解除

市は、受注者が次の各号のいずれかに該当する場合は、委託契約を解除することができる。この場合において、受注者に損害が生じても、市はその責めを負わない。

- (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第4条第1項第1号から第3号までに定める基準に適合しなくなったとき。
- (2) 契約に違反し、その違反により契約の目的を達成することができないと認められたとき。
- (3) その他の都合により、この契約を解除する必要があるとき。

### 17 委託料の支払い

委託料の支払いは、毎月払いとする。一月当たりの支払額は、委託料の総額の36分の1に相当する額とし、端数がある場合は、当該年度初回分に併せて支払うものとする。

### 18 業務内容の変更

市は、必要があると認めるときは、受注者と協議のうえ、収集区域その他本業務内容を変更することができる。本業務の内容を変更した場合において、委託料の額を変更する必要があるときは、市と受注者が協議のうえ、委託料の額を変更することができる。

### 19 その他

- (1) 市の指示により臨時又は緊急に収集の必要があるときは、受注者は直ちに収集しなければならない。
- (2) 災害発生時には復旧作業等、積極的に市に協力すること。
- (3) 本仕様書に定めるもののほか、必要事項は、市と受注者協議の上、決定するものとする。